



大阪部会(第 45 回)

日 時: 2015 年 9 月 26 日(土) 18:00~20:10

場 所: 同志社大学大阪サテライトキャンパス

【内容要旨】 第 45 回の大阪部会の出席者は、経済教育学会と日程が重なり、若干すくなめの 9 名。

(1) まず、篠原総一代表(京都学園大学)から、経済教育ネットワークの最近の活動報告があった。8 月に日本取引所と共催した夏の経済教室、9 月の東京部会などの内容や結果が紹介された。また、9 月 4 日の理事会、評議員会で承認された今年度の活動方針にも触れられた。2016 年度から採用される中学公民教科書の比較検討、高校入試問題の検討などが新しく実施され、3 月 19 日に開催される年次大会でも、これらが取り上げられる。その他、部会間の交流も活発化することになった。

(2) 次いで野間(同志社大学)から、9 月の札幌部会の様子と、竹内大輔氏(日高中学校)の株式市場に関して作られた授業教材が紹介された。

(3)引き続き、先日京都部会で報告された上畑直久氏の「生活設計・マネープランゲーム」の指導案が、ここ大阪部会でも報告された。全国銀行協会が原案をつくった教材であり、カードに基づいて 20 代、30 代の収入、支出、貯蓄などが決まっていくゲームをし、結婚、子育て、住居購入などについて考えさせるものである。

出席者からいくつかの問題点、改善策が提案されたが大きなものは二点である。ひとつは、現実感のある金額が設定されているが、結婚や子育てによって貯蓄がマイナスになることも生じるような、子供たちを意気消沈させる可能性のある教材であるため、金銭以外の幸せポイントのような前向きな要素を強めた方がよいという点である。もうひとつは、ほとんどすべてがカードめぐりによって決定されていくため、人生が運だけで決まり生徒自身の意思決定の機会がないことである。一部のカードは表を向けて生徒自身に選ばせ、一部の数値はあらかじめ教師の方から与える形にしたほうがよいとの意見が出された。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2015 年 11 月 28 日(土)、時間は 18:00~20:00、場所は未定。